

事務事業チェックシート

事務事業No 10 事業名 在住外国人支援事業（防災講座の開催等）

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	4	国内外交流の推進
施策	1	国内外交流の推進
基本方針	2	多様な文化を持つ人々が共生できるまちづくりの推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間			～
事業実施の根拠法令	無		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	国際交流課	沼丸 晴彦	435-1010
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国際交流費	
	大事業		国際交流事業	
事項		在住外国人支援事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市内在住の外国人の方を対象に支援する。	防災講座等の開催及び国際交流会（ポットラックパーティ）を開催				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		防災講座を年3回実施、国際交流会（ポットラックパーティ）を年2回実施	防災講座を年2回実施、国際交流会（ポットラックパーティ）を年1回実施	防災講座を年3回実施、国際交流会（ポットラックパーティ）を年2回実施	防災講座を年3回実施、国際交流会（ポットラックパーティ）を年2回実施	防災講座を年3回実施、国際交流会（ポットラックパーティ）を年2回実施

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		842	732	853	773	850		850		850	
	伸び率 (%)		-	-	1.3%		-0.4%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	2,284	4,557	4,557	3,174	4,557		4,557		4,557	
		非常勤職員	804	804	804	562	804		804		804	
		小計	3,088	5,361	5,361	3,736	5,361		5,361		5,361	
	国庫支出金		0	0	0	0	0		0		0	
	県支出金		0	0	0	0	0		0		0	
	市債		0	0	0	0	0		0		0	
	その他		842	732	853	773	850		850		850	
	一般財源（税等）		0	0	0	0	0		0		0	
	所要人数	常勤職員	0.31	0.61	0.61	0.43	0.61		0.61		0.61	
		非常勤職員	0.32	0.38	0.38	0.29	0.38		0.38		0.38	
	主な予算内訳		報償金510千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	防災講座開催回数					年度目標値	3	3	3	3	3
						実績値	4	1			
	単位	回	全体目標値	3	全体目標達成度	33.3%	年度別達成度	133.3%	33.3%		
						年度目標値					
						実績値					
成果指標	防災講座参加延人数					年度目標値	50	50	50	50	50
						実績値	104	42			
	単位	人	全体目標値	50	全体目標達成度	84.0%	年度別達成度	208.0%	84.0%		
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内の在住外国人と日本人のコミュニティを推進するうえでは重要な事業である。その中でも在住外国人の防災意識を高めていただくことは必要不可欠である。毎年、本市に留学生等が訪れる状況下では継続・維持して行く必要がある。
「見直し」 「改善」案	出前防災講座として、市内の日本語学校でも開催。